

謹啓

初夏の候、会員各位におかれましては、益々ご清祥にてお過しのことと存じ上げます。平成28年度密教研究会学術大会を、平成29年7月7日(金)・8日(土)の両日にわたり、高野山大学において開催いたします。

今年は、密教研究会が設立された大正7(1918)年から数えて100年目の記念すべき年に当たります。それを記念して、講師に高木神元先生(高野山大学名誉教授)を講師にお迎えし、記念講演「大師の真言教学の起点—『请来目錄』の教学的意義—」も開催いたします。奮ってご参加下さいませよう、ご案内申し上げます。

合掌

平成29年6月

密教研究会会長 奥山 直司

密教研究会事務局

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学内

TEL 0736(56)2921(代) / FAX 0736(56)2980(代)

平成29年度 密教研究会学術大会

密教研究会設立100周年記念大会

記念講演

「大師の真言教学の起点—『请来目錄』の教学的意義—」

講師 高木神元先生(高野山大学名誉教授)

日時: 平成29年7月7日(金)・8日(土)

場所: 高野山大学

7月7日(金)

【午前の部】(10:00~12:00)

第1会場(高野山大学2F 第3会議室)

- 1、空海の文章における「医薬の喩え」と「医療観」
八木 高秀(高野山大学密教文化研究所受託研究員)
- 2、『諸阿闍梨真言密教部類總録』の略称について
趙 新玲(高野山大学大学院博士後期課程)
- 3、戦時期日本が見た大陸の「密教」—「満蒙」関連画像資料に見る諸表象—
高本 康子(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター)
- 4、初期密教における仏三尊の成立をめぐって
磯部 武男(高野山大学大学院修士課程修了)

第2会場(高野山大学2F 第2会議室)

- 1、金剛乘における時輪教のヴァジラパーニについて
静 春樹(高野山大学密教文化研究所委託研究員)
- 2、『一切秘密燈広註』に関する一考察—著者ヤショーパドラをめぐって—
大観 慈聖(京都大学大学院修了)
- 3、瑜伽行派における種姓の同義異語—『瑜伽師地論』を中心として—
岡田 英作(京都大学非常勤講師)
- 4、『中観五蘊論』に説かれる有部説の帰属をめぐって
—カシミール有部の説か、非カシミール有部の説か—
横山 剛(国際仏教学大学院大学特任研究員)

【午後の部】(13:00~17:00、高野山大学2F 第3会議室)

第1会場(高野山大学2F 第3会議室)

- 1、空海漢詩文研究「秋日觀神泉苑」の制作時期等の検討
中谷 征充(高野山大学密教文化研究所受託研究員)
- 2、天理大学附属天理図書館所蔵・教日師撰『授菩提心戒儀式』について
大柴 清園(高野山大学密教文化研究所専任研究員)
- 3、空海『秘藏宝鑰』第六住心に見える典故表現
南 昌宏(高野山大学)

記念講演 「大師の真言教学の起点—『请来目錄』の教学的意義—」

講師：高木神元先生(高野山大学名誉教授)

総会(2F 第3 会議室 17:00 ~)

懇親会(18:00~)

7月8日(土)

【午前の部】(10:00~12:00)

第1会場(高野山大学2F 第3会議室)

- 1、輝潭房緩善が継承した神道について—御流神道を中心に—
木下 智雄(高野山大学大学院博士後期課程)
- 2、『釈摩訶衍論自鈔』に説く無礙について
沼野 直子(高野山大学密教文化研究所受託研究員)
- 3、『宗義決択集』巻4「無尽莊嚴藏」における法身観と、その問題点
高柳 健太郎(高野山大学密教文化研究所受託研究員)
- 4、中世期の真言密教学における五藏曼荼羅の位置—『駄都秘決鈔』の理解を中心に—
龍山 隆彦(龍谷大学世界仏教文化研究センター)

第2会場(高野山大学2F 第2会議室)

- 1、*Guhyaṃāṇīlaka* における女性尊格について
徳重 弘志(高野山大学非常勤講師)
- 2、*Vajrapradīpa* に説かれるバリ儀礼
松村 幸彦(東北大学大学院専門研究員)
- 3、藏伝梵文写本流伝の歴史に関する一考察—13世紀梵文の手紙を手がかりとして—
加納 和雄(駒沢大学専任講師)

※発表時間は20分、質問時間は5分です。時間を厳守くださいますようお願い申し上げます。

※総会を欠席される方で、ご意見等ございます場合は、前日までに密教研究会事務局までお知らせください。なお、ご連絡がない場合は、会長に委任したものとさせていただきますので、その旨、ご了承ください。

※懇親会費は1名3,000円をご負担いただきます。当日受付にてお支払ください。会場は大学ホール(大学食堂)です。